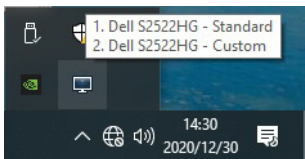


Dell Display Manager ユーザーズガイド

概要

Dell Display Manager (DDM) は、モニターやモニターグループを管理するための Microsoft Windows アプリケーションです。このアプリケーションを使用すると、一部の Dell モデルで表示された画像、自動設定の割り当て、エネルギー管理、画面の整理、画像の回転、その他の機能を手動で調整することができます。Dell Display Manager をインストールしておくことで、毎回システムが起動するときに実行され、通知トレイにアイコンが配置されます。システムに接続されたモニターについての情報は、通知トレイのアイコンにマウスを合わせると表示されます。



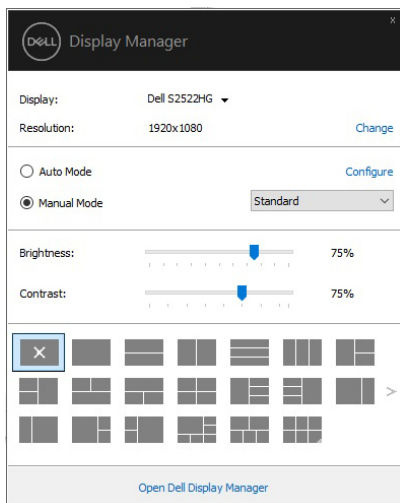
または、デスクトップの背景を右クリックして、デスクトップメニューから Dell Display Manager を選択すると DDM を起動することができます。

注： Dell Display Manager は、DDC/CI チャンネルを使ってモニターと通信します。下のように、メニューで DDC/CI が有効になっていることを確認してください。



クイック設定のダイアログを使う

Dell Display Manager の通知トレイアイコンをクリックすると、**クイック設定**のダイアログが開きます。コンピューターにサポートされる Dell モニターが複数接続されている場合は、用意されたメニューを使用するとターゲットのモニターが選択されます。**クイック設定**ダイアログボックスでは、簡単に明るさ、コントラスト、解像度、画面のレイアウト、その他を調整できます。プリセットモードを自動的に切り替えたり、プリセットモードを手動で選択したりすることができます。



クイック設定のダイアログボックスからは、Dell Display Manager の高度なユーザー インターフェイスにもアクセスできます。ここからは、基本的な機能を調整したり、自動モードを設定したり、その他の機能にアクセスしたりすることが可能です。

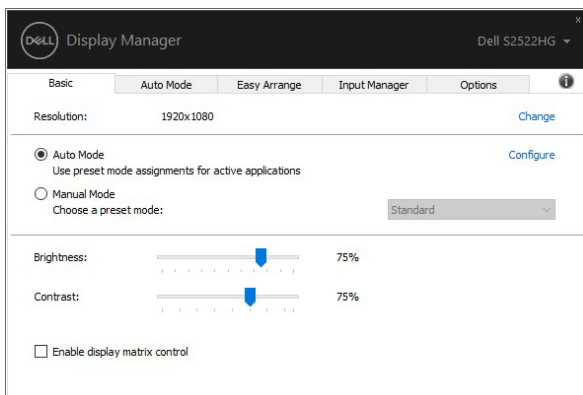



 注：

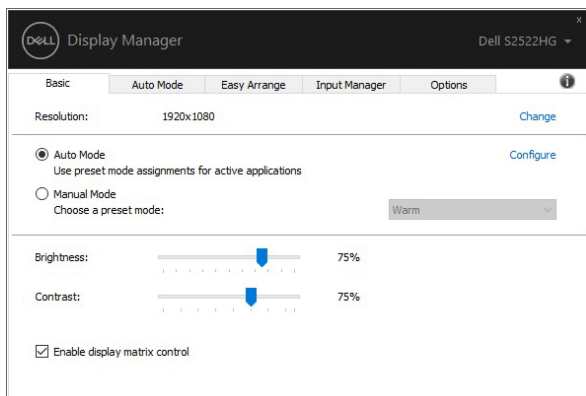
特長	機能	説明
Quick DDM アクセス	DDM UI を呼び 出すクイック キー	<ul style="list-style-type: none">Ctrl+Shift+DPage Up/Page Down キーを使用するか、または「>」を使って Easy Arrange (簡単アレンジ) レイアウトをナビゲートできます。
	複数のモニ ター設定で各 モニターを操 作できます。	<ul style="list-style-type: none">ドロップダウンボックスからモニターを選択します。コンピュータにモニターが接続されている場合は、選択したモニターに一瞬アイコンが表示されますので、どのモニターが選択されているかが分かります。モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。モニターを操作できるように DDM UI を移動させます。Ctrl+Shift+D を押すと、マウスポインタの下に miniUI を表示します。

基本的なディスプレイ機能の設定

手動でプリセット モードを選択するか、または現在アクティブになっているアプリケーションによってプリセット モードを適用できる **Auto Mode (自動モード)** を選択したりすることができます。モードを変更すると、画面のメッセージとして現在の **Preset Mode (プリセットモード)** がしばらく表示されます。一部のモニターの **Brightness (輝度)** と **Contrast (コントラスト)** も **Basic (基本)** タブから直接調整できます。




 **注**：複数の Dell モニターが接続されている場合は、“Enable display matrix control”（ディスプレイマトリクス制御）を選択すると明るさ、コントラスト、カラープリセット値を全モニターに適用できます。



プリセットモードをアプリケーションに割り当てる

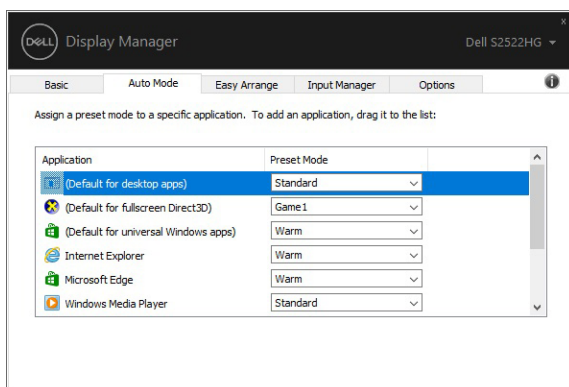
Auto Mode（自動モード） タブからは、特定の **Preset Mode（プリセットモード）** を特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用するように設定できます。**Auto Mode（自動モード）** を有効にすると、相当するアプリケーションがアクティベートされると、Dell Display Manager が自動的に相当する **Preset Mode（プリセットモード）** に切り替えます。各モニターで同じ **Preset Mode（プリセットモード）** が特定のアプリケーションに割り当てられているかもしれませんが、プリセットモードが 1 台ずつ違うかもしれません。

Dell Display Manager は、多くの一般的なアプリケーション向けにあらかじめ構成されています。割り当てリストに新しくアプリケーションを追加するには、デスクトップ、Windows のスタートメニュー、その他の場所からアプリケーションをドラッグして、現在のリストにドロップします。

 **注**：一連のファイル、スクリプト、ローダー、あるいは Zip アーカイブやパケット化されたファイルなどの非実行ファイルへの **Preset Mode（プリセットモード）** の割り当ては、サポートされていません。



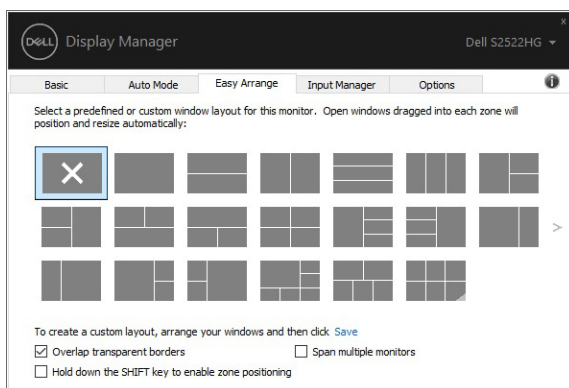
フルスクリーン モードで Direct3D アプリケーションを起動するときには、Game（ゲーム）プリセットモードを使用するように設定することも可能です。このモードでアプリケーションを使用しないためには、別のプリセットモードを割り当ててください。



簡単アレンジで画面を整理します

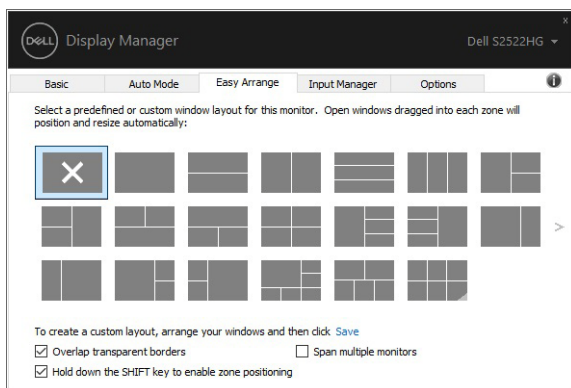
Easy Arrange（簡単アレンジ）は、デスクトップ上のアプリケーション画面を効率的に整理するために使用します。あなたの作業環境に合った、あらかじめ定義されたレイアウトパターンを1つ選択した後は、アプリケーション画面を決められたゾーンにドラッグするだけです。「>」を押すか、上へ/下へキーを使って他のレイアウトも見ることができます。

カスタムレイアウトを作成するには、右下隅にある小さい三角形でサムネイルを右クリックし、開いた画面で行と列の数を指定します。その後、OK をクリックして配列を調整してください。

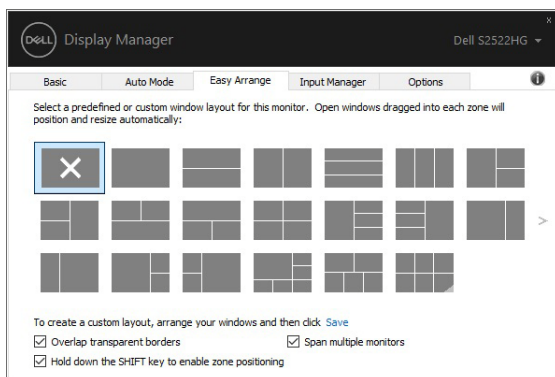


Windows 10 では、各仮想デスクトップに異なる画面レイアウトを適用することができます。

Windows スナップ機能を頻繁に使用する場合は、“**Hold down the SHIFT key to enable zone positioning**”（SHIFT キーを押しながらゾーンの位置を有効にする）を選択できます。この機能は、**Easy Arrange（簡単アレンジ）** よりも Windows スナップを優先します。この機能を有効にしたときには、**Easy Arrange（簡単アレンジ）** で位置を調整する場合は、Shift キーを押す必要があります。




複数のモニターを一行または縦横に配置している場合は、**Easy Arrange（簡単アレンジ）** レイアウトを全モニターに適用して1つのデスクトップとして使用することができます。この機能を有効にするには、“**Span multiple monitors**”（複数のモニタにまたがる）を選択します。これを有効に活用するためには、モニターを適切に配置する必要があります。



Easy Arrange（簡単アレンジ）は他の使い方もできます。次の表をご参照ください。

特長	機能	説明
拡張した Easy Arrange （簡単アレンジ）	カスタムレイアウト	<ul style="list-style-type: none"> 5種類のカスタマイズした Easy Arrange（簡単アレンジ）パターンに名前を付けて保存します。 x*y パターンを構成します。
	5種類の MRU（最後に使用した）レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> Ctrl+Shift+Home を押すと、最後に使用した 5 種類の MRU レイアウトが順に切り替わります。
	その場でパーティションをリサイズ	<ul style="list-style-type: none"> Ctrl を押しながら現在の Easy Arrange（簡単アレンジ）レイアウトをリサイズして、レイアウトのセルの数やサイズを調整します。 新しく構成した Easy Arrange（簡単アレンジ）パターンは、Easy Arrange（簡単アレンジ）アイコンの中に保存されます。 Ctrl を押しながら編集したレイアウトアイコンをクリックすると、元のレイアウトに戻ります。
	Easy Arrange （簡単アレンジ）レイアウトは縦モードです。	<ul style="list-style-type: none"> モニターを回転させると、縦モードの Easy Arrange（簡単アレンジ）アイコンが表示されます。

 **注：**一部のアプリケーションでは、その画面に対して最低有効解像度が必要です。ゾーンが必要な画面サイズよりも小さければ、アプリケーションが **Easy Arrange**（簡単アレンジ）でぴったりと合わない場合があります。

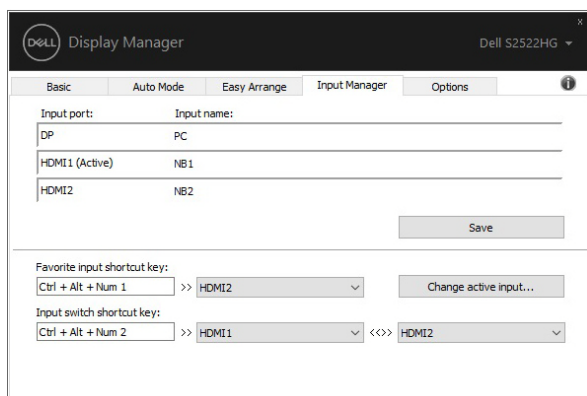
複数のビデオ入力の管理

Input Manager（インプットマネージャー）タブでは、Dell モニターに接続された複数のビデオ入力を簡単に管理する方法を選択できます。複数のコンピューターで作業をする場合、簡単に入力を切り替えることができます。

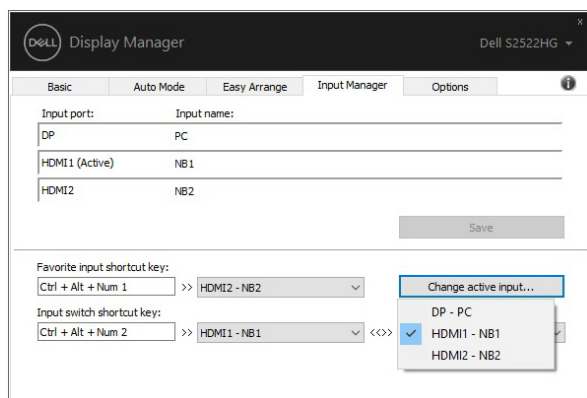
モニターで使用できるビデオ入力ポートはすべてリストされます。必要であれば、各入力に名前を付けることができます。編集した後は、変更内容を保存してください。



ある入力と別の入力を簡単に切り替えられるように別々のショートカットを定義することができます。



入力信号を切り替えるには、ドロップダウン リストを使用できます。

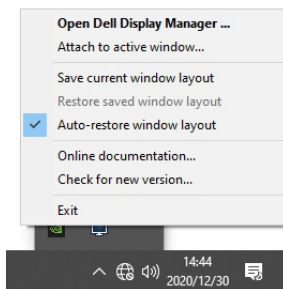


注： モニターが別のコンピューターの映像を表示していても、DDM はあなたのモニターと通信します。よく使用する PC に DDM をインストールし、そこから入力切り換えを操作することができます。モニターに接続した他の PC にも DDM をインストールできます。

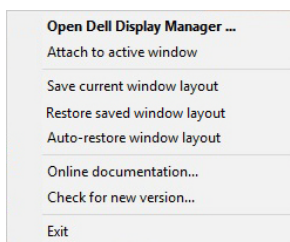


アプリケーションの位置を復元する

DDM では PC をモニターに再接続したときに、アプリケーション画面を定位置に戻すことができます。通知トレイにある DDM アイコンを右クリックすると、この機能に簡単にアクセスできます。




“Auto-restore window layout”（ウィンドウのレイアウトを自動復元）を選択すると、DDM がアプリケーション画面の位置を追跡し、保存します。DDM では PC をモニターに再接続したときに、アプリケーション画面を元の位置に自動的に戻します。



お気に入りのレイアウトに戻るには、「Save current window layout」（現在のウィンドウレイアウトを保存）を選択し、その後で「Restore saved window layout」（保存したウィンドウレイアウトを復元）を選択します。

日常業務で異なるモデルや解像度のモニターを使用したり、異なる画面レイアウトを適用したりすることがあるかもしれません。DDM は再接続したモニターを記憶し、それに応じてアプリケーションの位置を復元することができます。

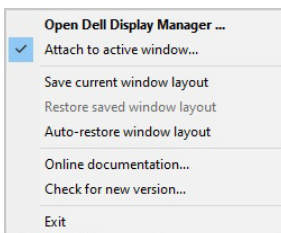
モニターを縦横配列に配置する必要がある場合は、配置を動かす前に画面のレイアウトを保存しておく、新しいモニターを設置した後でレイアウトを元に戻すことができます。

 **注：**この機能を活用するためには、アプリケーションを起動し続ける必要があります。DDM はアプリケーションを立ち上げません。

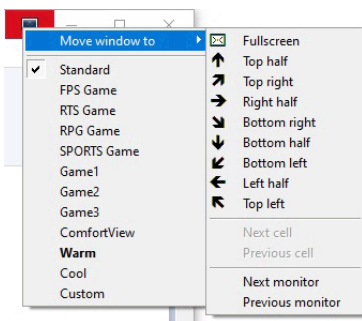


DDM をアクティブな画面に追加する（Windows 10 のみ）

Windows 10 では、DDM ショートカットアイコンをアクティブな画面のツールバーに配置することができます。この機能を有効にするには、通知トレイの DDM アイコンを右クリックして、開いたメニューからアクティブな画面に接続を選択します。



ツールバーのアイコンを右クリックすると、簡単に調整ができるように、**Auto Mode（自動モード）** および **Easy Arrange（簡単アレンジ）** の中のオプションを表示する DDM のクイックメニューが開きます。



省エネ機能を適用する

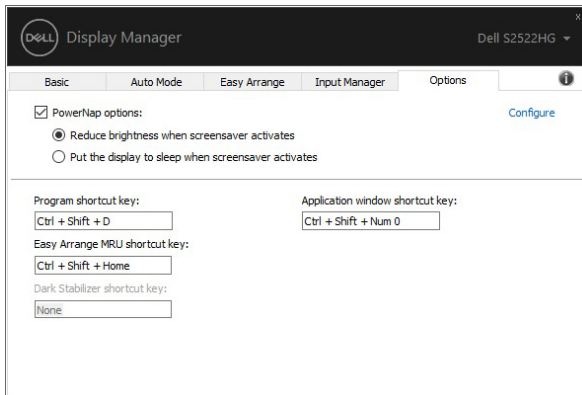
Options (オプション) タブには PowerNap 省エネオプションがあり、キーボードのショートカットをカスタマイズすることができます。

上のペインでモニターの明るさを最低レベルに設定するか、スクリーンセーバーをアクティベートしたときに、モニターをスリープモードにすることができます。

その他のショートカットキー

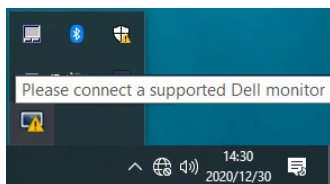
次の DDM 機能へクイックアクセスするためのショートカットキーを定義することができます。

- ・ **プログラム ショートカットキー** : クイック設定ダイアログボックスを素早く開きます。
- ・ **簡単アレンジ MRU ショートカットキー** : 5 種類の最後に使用した画面レイアウトを適用します。
- ・ **暗さスタビライザー ショートカットキー** : **Dark Stabilizer (暗さスタビライザー)** のレベルをすばやく調整できます。これは **Game (ゲーム)** プリセットモードでしか使用できません。
- ・ **アプリケーション画面ショートカットキー** : **Auto Mode (自動モード)** および **Easy Arrange (簡単アレンジ)** のオプションを持つクイックメニューを起動します。

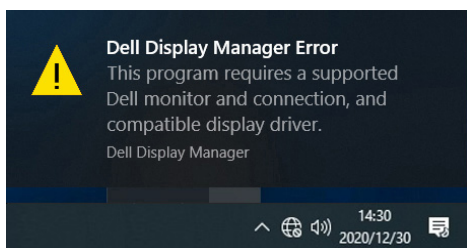


問題を解決する

お使いのモニターで DDM を使用できない場合は、通知トレイに次のアイコンが表示されます。



このアイコンをクリックすると、DDM が詳しいエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのモニターでしかご使用いただけませんのでご注意ください。他のメーカーのモニターをご使用になっている場合は、DDM がそれらに対応していません。

DDM がサポートする Dell モニターを検出できない、または通信できない場合は、次の手順で問題を解決してください。

1. モニターと PC がビデオケーブルで正しく接続されているか、またコネクタがしっかりと挿入されているか確認してください。
2. モニターの OSD で DDC/CI が有効になっていることを確認してください。
3. グラフィックベンダー（Intel、AMD、NVIDIA）が提供する正しく最新のディスプレイドライバがあることを確認してください。しばしばディスプレイドライバが DDM エラーの原因となります。
4. モニターとグラフィックポートを繋ぐドッキングステーション、延長線、コンバーターを外してください。一部の低価格の延長線、ハブ、コンバーターは、DDC/CI を正しくサポートせず、DDM エラーを引き起こします。このようなデバイスのドライバに最新バージョンがある場合は、アップデートしてください。



5. システムを再起動します。

DDM は次のモニターとは作動しません。

- ・ 2013 年以前に製造された Dell モニター モデルまたは Dell モニター D シリーズ。詳細は、Dell 製品サポート ウェブサイトをご覧ください。
- ・ NVIDIA ベースの G-sync テクノロジーを使用したゲーミング モニター。
- ・ 仮想ディスプレイやワイヤレス ディスプレイは DDC/CI をサポートしません。
- ・ 一部の初期モデルの DP 1.2 モニターは、モニター OSD を使って MST/DP 1.2 を無効にする必要があるかもしれません。

PC がインターネットに接続されている場合は、DDM アプリケーションの新しいバージョンがリリースされるとメッセージで知らせます。最新の DDM アプリケーションをダウンロードしてインストールするようお勧めします。

また、Shift キーを押しながら DDM アイコンを右クリックすることで、新しいバージョンをチェックすることができます。

